



第7回 JAPAN YARN FAIR 最終報告

NEWS No.5 平成22年2月9日

3日間の来場者は2,757名、サンプルリクエストは約2倍

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンターは2月3～5日の3日間「第7回 JAPAN YARN FAIR (JY)」をFDCで開催した。このJYには全国から紡績、撚糸、糸商社など45社が参加し、新しい機能などの加工法や高級原料をベースとした新作ヤーンを多数展示して商談を進めた。会期中に前回は8.6%下回る2,757名(前回3,014名)が来場したが、3日間のサンプルリクエストは出展45社合計で4,590点となり、前回(2,371点)の約2倍の93.6%増と過去最高を記録した。

今回のJYはヤーンマーケットを巡る環境が「戦後最悪」といわれる条件のなかで開催された。開催の数日前に発表された2009年の綿糸と毛糸の生産は終戦翌年の昭和21年の生産をも下回る戦後最低を記録、ヤーン需要面でも最大の産地尾州の同年の織物生産が前年比26.3%減(紳士服地29.3%減、婦人服地24.9%減)で、「数量で約30%減、金額ベースで70%」(毛工連幹部)という厳しい環境だった。

こうした中でJY展は開催されたが、出展者も来場者も「新商材を提案した」、「新規需要を開拓する差別化素材を提案した」(出展者)、「差別化できる商材を探しにきた」、「満足いく素材があった」(来場者)と共に真剣だった。これを裏付けるように実来場者は2,757名(前回3,014名)で前回は下回ったものの、出展45社ブースへの訪問者は延べ1万3,693名で、1ブース平均30.4名が訪れた。



中には1,000名が訪れたというブースもあった。

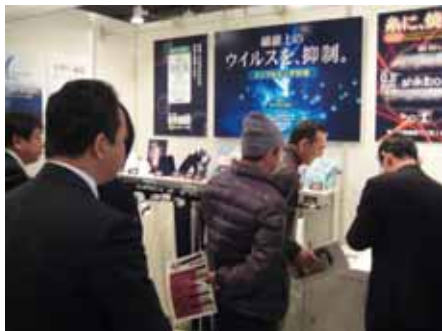
さらに注目されたのは45社

に対するサンプルリクエスト数で、実来場者数が前回は下回ったものの4,590点(前回2,371点)に達し、前回の1.93倍に達した。ある出展者は「リーマンショック以降の状況を考えれば、来場者減は予想していたが、サンプル増には驚いた。JYがそれだけビジネス本位になった証だ」と語っており、東京から来場したテキスタイル業界のリーダーも「羨ましいかぎり。東京でも開いて欲しい」と語っていた。

今回のJYで最大の特徴は前回185名に留まっていたアパレル・小売店の来場が205名へ11%増加した点である。主な来場者は《表》で紹介してあるが、大手アパレルからDC(デザイナー・キャラクター)アパレルまで広い範囲にわたって来場した点である。これはヤーンからの差別化がテキスタイル



商社・生地
 問屋から
 アパレル・小売り
 まで普及
 したことを
 物語る





もので、「JYはわが国ファッション業界にとって不可欠の存在に高まった」といえる。ファッション業界での低価格化・同質化・均一化から抜け出したいという思いの表れでもある。会期中の来場者は業態別ではテキスタイル39%、商社・問屋25%、アパレル・小売7%、その

他29%で当然テキスタイルが中心である。地域別では愛知県の40%をトップに岐阜県10%、東京都9%、大阪府16%、京都府4%、その他21%で、地元の愛知は当然として大阪の16%が目立った。その他は山形、茨城、群馬、山梨、石川、福井、静岡、三重、滋賀、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、愛媛、福岡など多数県に及んだ。

来場者の来場目的は「企画の参考」が過半数を占めたが、「提案素材の確認」や「商談そのもの」、「新規取引先開拓」もあげられていた。

JYの今後に関しては出展者も来場者もほぼ100%が「継続開催」を希望していた。

《主なアパレル・小売店来場者》(順不同)

1日目の来場者37名	2日目の来場者64名	3日目の来場者74名
オンワード樫山、ワールド、レナウン、サンエーインターナショナル、東武百貨店、AOKI、ジュニア、エイガールズ、タビオ、サンフォード、CROSBY、布伝説、フリーインターナショナル、アヴリル、モード・ユー	ワールド、ワコール、ビギ、ガイドインターナショナル、トゥモローランド、タビオ、エイガールズ、イェリデザインプロダクツ、大磯産業、イズミヤ、マルテン天満屋、三澤、ファッション・パーキー、アオキ、ブルーメイト、美岐	ユニー、ライトオン、オンワード樫山、ワールド、辻商、グンゼ、アツギ、ユナイテッドアローズ、ヒロコシノインターナショナル、ヒロタ、キングゲロリー紳士服、アバハウスインターナショナル、ヨーガンレール、ドロワー、和商、ディノス、パルファン、ノーリーズ、山脇、タビオ、ソスウインターナショナル、ピーアイフォーティファイブアールピーエムスタジオ、ジュニア、藤久、アスディック、京都西川、オリーブ・デ・オリーブ、レイニ、モードラサ、モードエイト、岡本、サンゲツ、工房夢細工、ルシェルブルー、ヨークス
		

《第7回JY来場者内訳とビジネス内容》

1、業種別

業種	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)	計(構成比%)
テキスタイル	331(284)	370(405)	379(411)	1,080(39)
商社・問屋	202(291)	228(260)	267(218)	697(25)
アパレル・小売り	37(56)	64(55)	104(74)	205(7)
その他	213(229)	271(315)	291(416)	775(29)
計	783(860)	933(1,035)	1,041(1,119)	2,757(100)

2、地域別

地域	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)	計(構成比%)
愛知県	368(358)	344(400)	382(494)	1,094(40)
岐阜県	89(88)	86(135)	102(122)	277(10)
東京都	45(69)	68(95)	124(71)	237(9)
大阪府	115(151)	154(170)	169(158)	438(16)
京都府	23(36)	36(46)	38(43)	97(4)
その他	143(158)	245(189)	226(231)	614(21)
計	783(860)	933(1,035)	1,041(1,119)	2,757(100)

3、ビジネス

	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)	合計
ブース来場者数	3,915(5,850)	4,455(6,509)	5,323(4,755)	13,693(17,114)
商談件数				2,718()
成約見込み件数				1,280()
サンプルリクエスト	1,170(844)	1,665(750)	1,755(777)	4,590(2,371)
現物受注	4(93)	16(15)	16(7)	36(115)
1社当りリクエスト	26(19)	37(17)	39(17)	102(53)

この件に対するお問い合わせはFDC事務局まで(0586-46-1361)

出展各社一覧はこちらまで <http://www.fdc138.com/fashion/promotion/jy/index.html>